



ごあいさつ

田んぼの稲刈りが終わり、すっかり秋の景色に移りました。コロナ禍で家にいる時間が長い毎日かと思いますが、お元気でお過ごしでしょうか？

今年、川辺泉田まちづくり協議会は、総会をはじめ計画されていた活動の大部分が中止となり、地域の皆様とのかかわりが減ってしまいました。

「アンケートの集計結果」や「まちづくり計画」をお伝えする機会も逸してしまいましたので、近いうちに回覧板等でお伝えしたいと考えます。

コロナについては、県の段階でレベル1に下がりましたが、インフルエンザの流行る時期にもなりますので、自分でできる感染予防対策は続けていきましょう。

「広報かわせんVol.7」をお届けします。地域の様子をご覧ください。

会長 田中 敏子

宝池の竣工式を行いました

■宝池について

宝池は、湯川沿いにある水田地帯(以下「福田郷」という)の水不足を解消するために、1734年(享保19年)、上田藩(松平忠愛)が資材を調達し、上田領域内全域から延べ13,000人余りの人を集めて、わずか20数日の短期間で築造されました。その後、永きにわたり福田郷の用水の確保と地域防災の役割を担っています。

2011年(平成23年)3月に発生した東日本大震災を契機として、2017年(平成29年)10月から冬期間に限り、3年に渡る大規模な耐震対策工事が実施され、2020年(令和2年)7月に竣工となりました。



儀をはじめとした神事が行われ、改修工事の完成を祝うとともに宝池が今後とも末永く地域の実りを豊かにし、災害から地域を守ってくれることを祈願しました。



宝池は、冬から春先に周りの山々から流れ出す水を山崎堰を通して溜め、農業用水として使い、大雨のときは洪水緩和の役目もあります。その他、多くの植物・生き物の住処として生態系保全の役割もあります。

地域住民はこれからも、利水と治水を担う宝池の多面的機能を理解し、宝池水系の景観・環境を守っていかなければなりません。

福田営農組合長 田中 稔

■竣工式について

2020年(令和2年)8月22日(土)宝池に接する福田神社境内にある富郷社前にて、福田営農組合主催による竣工式が執り行われました。

式典は、コロナ禍の中であり3密を避けながら、上田地域振興局、地元関係者、工事関係者出席のもと小人数で執り行われました。式では竣工清祓の

宝池の概要

管理団体／福田営農組合

水源／浦野川(大口水門)～山崎堰

灌漑面積／25ヘクタール 計画貯水量／64,800m³

堤高／8.0メートル 堤頂長／530メートル